

芦森工業株式会社

芦森工業のご紹介と取り組みについて
～栃木県下野市に新工場を建設～

取締役 常務執行役員 伊藤 和良

2025年10月30日
とちぎ企業立地・魅力発信セミナーin大阪



1 芦森工業について

2 成長戦略について

3 工場用地の選定について

4 最後に

会社概要/事業内容/沿革

管路更生分野に注力

栃木県選定理由

栃木県のみなさま
進出をご検討のみなさまへ





1 芦森工業について

会社概要/事業内容/沿革



■ 会社概要 ■ 創業1878年（明治11年）の歴史ある会社
大阪府摂津市に所在するメーカー

芦森工業株式会社

本 社：大阪府摂津市千里丘7-11-61

創 業：1878年（明治11年）

取締役社長：財津裕真

取締役常務：伊藤和良（機能製品事業本部長）

資 本 金：83億88百万円

従業員数：約2,400名（連結）



本社・大阪工場（大阪府摂津市）



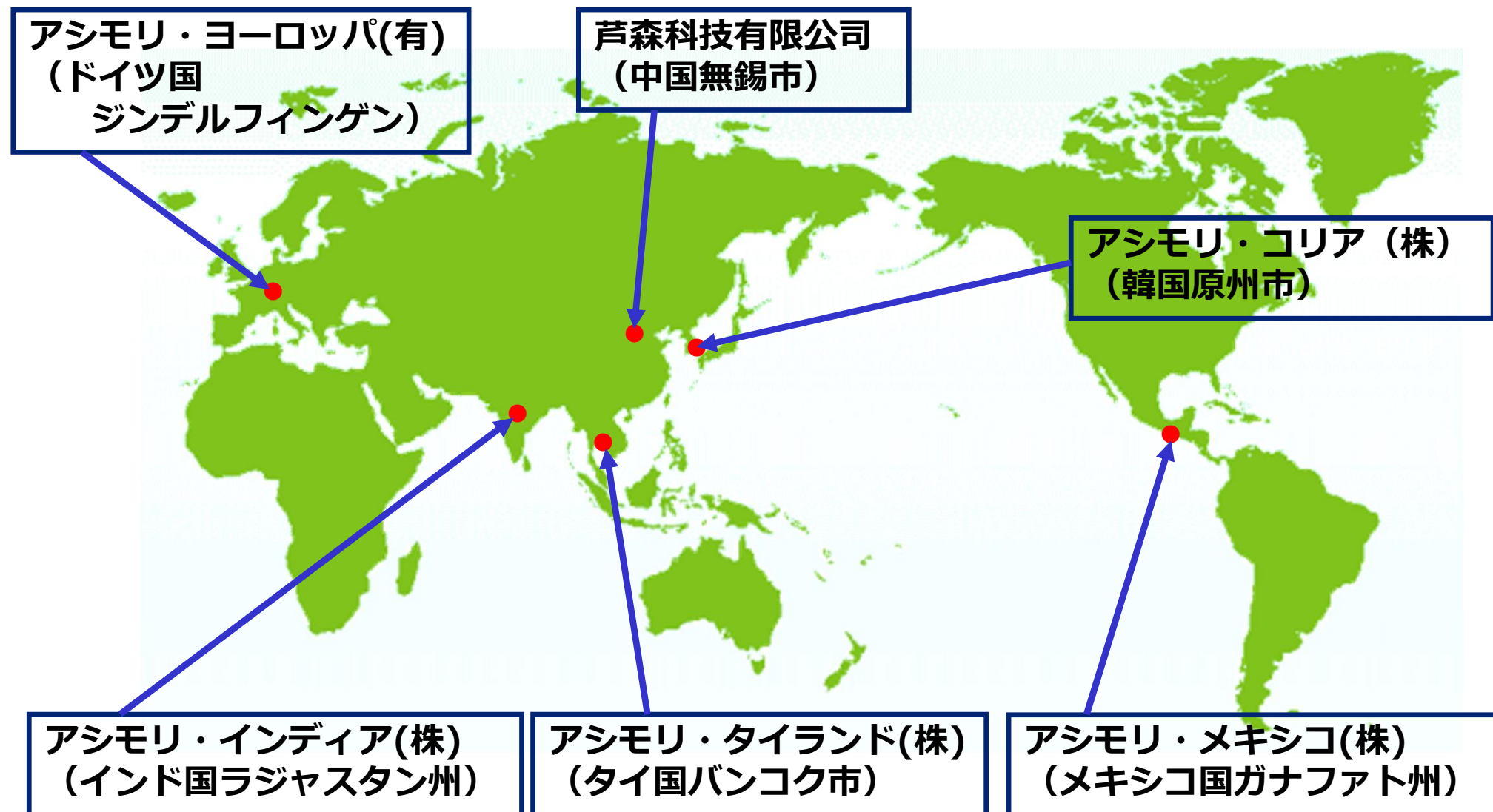
■ 会社概要 ■ 事業所 6 か所, 芦森グループ会社 国内に 6 社**芦森工業（国内）**

- 本 社 :  大阪府摂津市
- 支 社 :  東京都千代田区、大阪市西区
- 工 場 :  大阪府摂津市
-  兵庫県篠山市
-  福井県小浜市
-  静岡県浜松市
-  栃木県下野市（計画）

**芦森グループ（国内）**

芦森エンジニアリング(株)、オールセーフ(株)、芦森工業山口(株)、
ジェット商事(株)、(株)柴田工業、パルテム・テクニカル・サービス(株)

■ 会社概要 ■ 海外に 6 社（生産拠点 5 社・営業所 1 社）

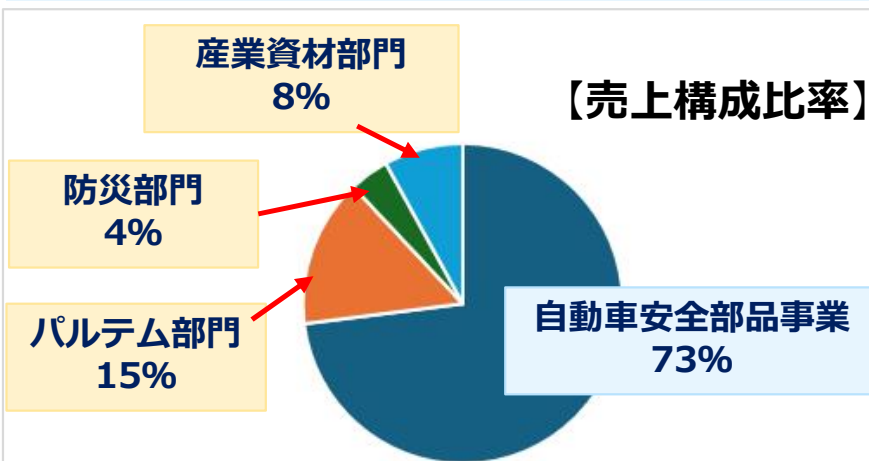


■ 事業内容 ■

「自動車安全部品事業」と「機能製品事業」の2本柱で構成

自動車安全部品事業

シートベルト、エアバッグ、サンシェード、トノカバーなど



機能製品事業

(パルテム部門)

管路更生工法
「パルテム」用材料
資機材など



(防災部門)

消防ホース、
消火栓ホース、
大口徑ホース、
防災関連資機材など



(産業資材部門)

合成ロープ・ベルト、
帆布・シリカスクリーン、
物流省力化システムなど



■ 沿革 ■ 創業年数147年の織物技術が祖業の会社

創業年数

147年

創業1878年(明治11年)



1885年(明治18年) 産業資材部門
日本初 伝導用綿ロープの製造開始

1952年(昭和27年) 防災部門
日本初 ゴム内張り消防ホース
 「ジェットホース」の製造開始

1967年(昭和42年) 自動車安全部品部門
日本初 シートベルトメーカーとして
 日本初のJIS表示許可を受ける

1980年(昭和55年) パルテム部門
日本初 パイプライニングシステム
 「パルテム」完成



そして2028年 創業150年を迎え 新工場の操業を開始する



■ 2 成長戦略について

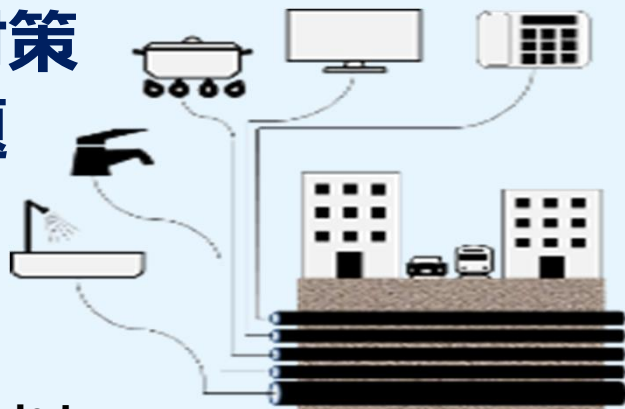
管路更生分野に注力



■ 成長市場（管路更生分野） ■ パルテムに注力

国内インフラの老朽化が進み、管路更生の需要はますます拡大
生産能力拡大、新規開発や緊急対策の増加により→東日本に生産拠点が必要

老朽化対策 が課題



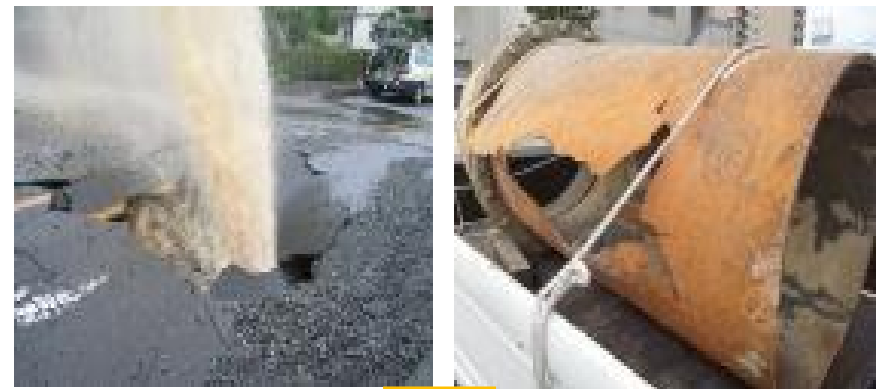
地下に埋設された
上・下水道、ガス、電気などのパイプライン

<インフラの現状>

高度成長期に設置され**50年以上経過**した多くのパイプラインが現在、**寿命を迎えている**

パルテム(PALTEM)とは
Pipeline Automatic Lining sysTEMの略

管路更新の需要拡大に向けて



効率的対策が必須の課題

■ 成長市場（管路更生分野） ■

純国産技術：命を守る“消防ホース”と“シートベルト”の技術より生まれた工法
皆様の暮らしを守る。国土強靱化計画へ→**管更生技術が大きく注目を集める**

パルテムHL工法



パルテムSZ工法



非開削工事なのに耐久性・耐震性を付与出来る

マンホールを利用して既設管きょ内にライナーを引き込み、空気で拡張・加熱して管きょ内に高強度FRPパイプを形成する工法。

「非開削工法」の特長

- ・ 廃棄物が少ない
- ・ 工期短縮

環境にやさしい

パルテムSZ工法の直近6年実績推移



国内の市場シェアを拡大



■ 3 工場用地の選定について

栃木県選定理由



■ 工場用地の選定 ■

東日本地区で生産拠点の選定条件として、操業開始予定や事業計画に基づき、栃木県を選定した。

比較項目		栃木県 		比較某所	
安全	洪水・地滑り対象外	⇒	○ ハザードマップ [○] 確認	=	○ ハザードマップ [○] 確認
将来性	面積3.0ha以上	⇒	○ 3.14ha	>	▲ 2.5ha（協議要）
環境	工業専用地域	⇒	○ 工業専用地域	=	○ 工業専用地域
輸送	供給先への距離	⇒	○ 東京都内100km圏内	=	○ 東京都内100km圏内
計画	2025年春取得	⇒	○ 2025年3月引渡	>	▲ （要協議） 2025年夏

■ 栃木県選定理由 ■

- ・ 西日本中心の芦森工業は今後の需要拡大に向けて東日本での生産拠点が必要
- ・ 栃木県と下野市の強力な支援と、交通の利便性など当社にとって最適なロケーションであると判断

- ・ 交通アクセスが便利
 - 東日本の生産拠点として最適
- ・ 長尺製品を扱う新工場として
 - 敷地面積が最適
- ・ 災害リスクが低い
- ・ 豊かな自然・観光資源
- ・ 自治体の手厚いご支援
 - 雇用、採用、助成金



■ 栃木県選定理由 ■ 栃木県しもつけ産業団地

<概要>

- ・工業専用地
- ・土木工事実施済
(開発申請・工事)
- ・人口16万人の
小山市に隣接。

都心へは新4号国道、
北へは東北自動車道
が近い。
住宅地域が近く、新
しい工業団地。
雇用問題は、比較的
対策し易い候補地

団地名	12. しもつけ産業団地								
所在地	下野市下坪山・花田・絹板								
事業主体	栃木県土地開発公社								
面積	全体計画：33.3ha 分譲対象：24.1ha 分譲可能：24.1ha 初回公募終了、次回未定 / 造成中								
対象施設	工場、研究所、流通施設								
交通アクセス	<table border="1"> <tr> <td>道路</td><td>北関東自動車道 宇都宮上三川IC 14km 新4号国道 隣接</td></tr> <tr> <td>鉄道</td><td>東北新幹線 小山駅 8km JR 宇都宮線 小金井駅 3km</td></tr> <tr> <td>空港</td><td>茨城空港 53km</td></tr> <tr> <td>港湾</td><td>茨城港（常陸那珂港区）77km</td></tr> </table>	道路	北関東自動車道 宇都宮上三川IC 14km 新4号国道 隣接	鉄道	東北新幹線 小山駅 8km JR 宇都宮線 小金井駅 3km	空港	茨城空港 53km	港湾	茨城港（常陸那珂港区）77km
道路	北関東自動車道 宇都宮上三川IC 14km 新4号国道 隣接								
鉄道	東北新幹線 小山駅 8km JR 宇都宮線 小金井駅 3km								
空港	茨城空港 53km								
港湾	茨城港（常陸那珂港区）77km								
都市計画用途地域	市街化区域 工業専用地域								
用水	工業用水：供用不可 上水道：供用可能 地下水：6000t/日								
排水	公共下水道に未接続 企業内処理必要								
電力	高圧：6000V 特別高圧：要相談 変電所不明								
ガス	要相談								
譲渡単価	19500～21000円/㎡ 造成後価格								



■ 栃木県選定理由 ■

管路更生の材料は、発注者の立会確認や遠方地への輸送が多い為、**安全性・輸送・実績を重視**するなか、要望に合致していました。

＜将来的な安全性＞

- ・活断層やプレート境界の影響が比較的少なく、被害想定も小さい
- ・浸水区域外（ハザードマップ）

＜商品の輸送の利便性＞

- ・北海道～甲信越エリア
港へのアクセス
- ・東京都内へのアクセス
- ・輸送コストの低減

＜施工実績＞

- ・管路更生工法の実績
- ・協力会社との関係強化

■アクセス



■ 栃木県選定理由 ■

その他 **とても重要な要因**として…

工場用地の選定にあたり、栃木県土地開発公社や下野市役所の方々には、非常に協力的に、ご案内いただき

「正直」 「堅実」 「真面目」

な県民性に触れ、感謝するとともに

今後、工場職員を募集するにあたり、安全・品質を重視する当社の社風にも、馴染みやすいと感じました。

芦森工業株式会社 社是

1. 信用を重んじ、堅実を旨とする。
2. 人の和と開かれた心で活力ある企業を築く。
3. 創意を生かし、社業を通じて社会に貢献する。



4

最後に…

栃木県のみなさまへ
栃木県へ進出をご検討のみなさまへ



当社はこれからも、長い歴史と伝統を受け継ぎ、
人々の「命と暮らしを守る」ための事業を続けてまいります。

自動車
業界



建設
業界



各業界と**地域のみなさま**との良好な関係を大切に

消防
業界



物流
業界



ご清聴ありがとうございました

ちから
つむぐ 技術、つなげる 未来 
芦森工業株式会社